

備考

- 1 6月30日までに前年度のものを提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 別表の「計画の実施状況」には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 別表の「計画の実施状況」の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画のそれぞれの項目の「①現状」欄に記載した実績値を廃棄物の種類ごとに記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、別表の「計画の実施状況」の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、添付すること。

担当者 連絡先	所属	総務部	職 氏 名	熊澤 伸幸	電 話	0743-53-4182
收受印	※		備 考	※	事 業 番 所 号	※

※欄には何も記入しないこと

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 6 月 30 日

奈良県知事 殿

提出者住所 奈良県大和郡山市井戸野町124-2

氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

株式会社クラハラ 代表取締役 倉原 定

電話番号 0743-53-4182

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項(奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第6)の規定に基づき、令和6年度の廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社クラハラ
事業場の所在地	奈良県大和郡山市井戸野町124-2
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

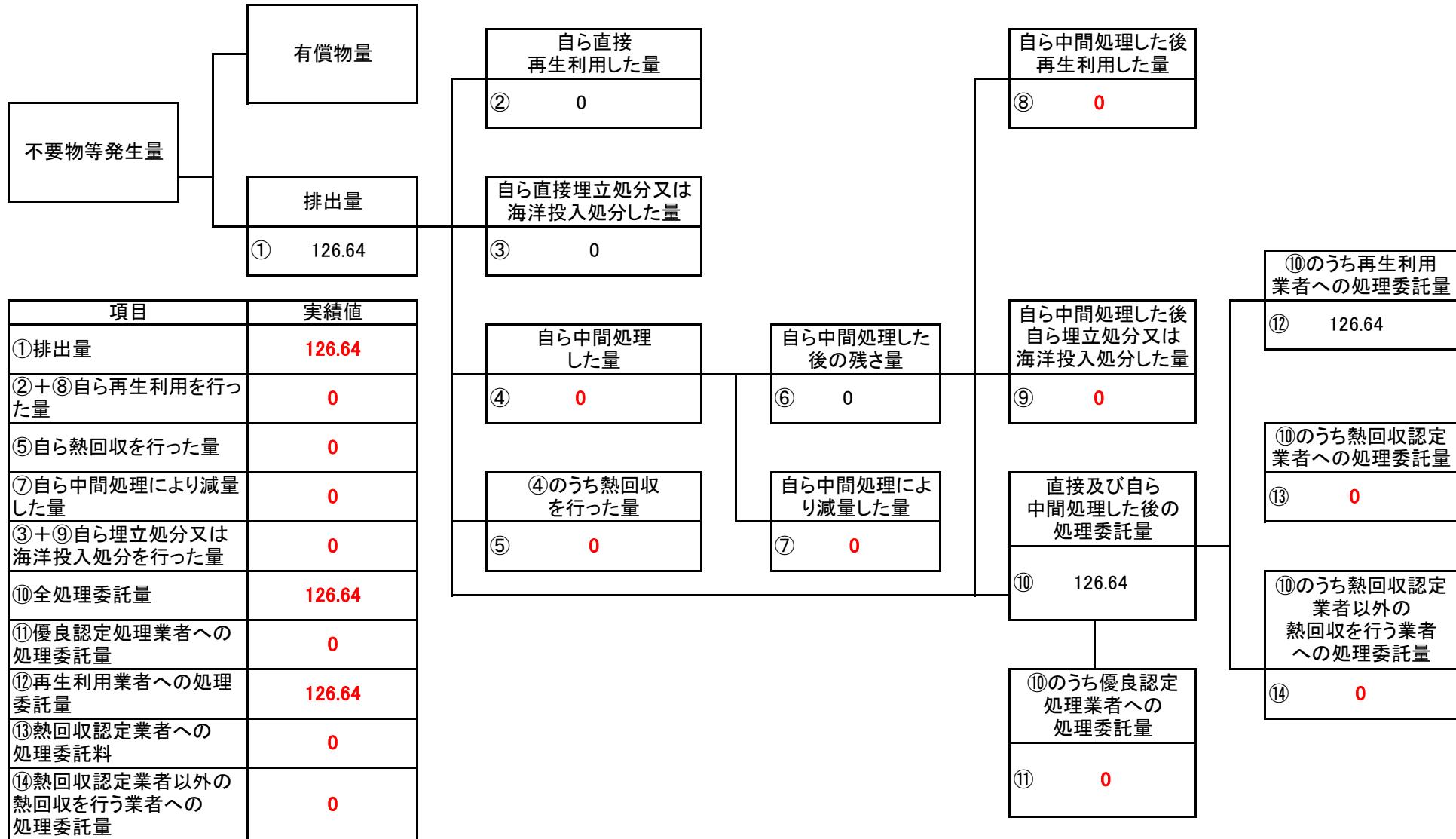
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	280 t	全処理委託量	280 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	280 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t

(日本工業規格 A列4番)

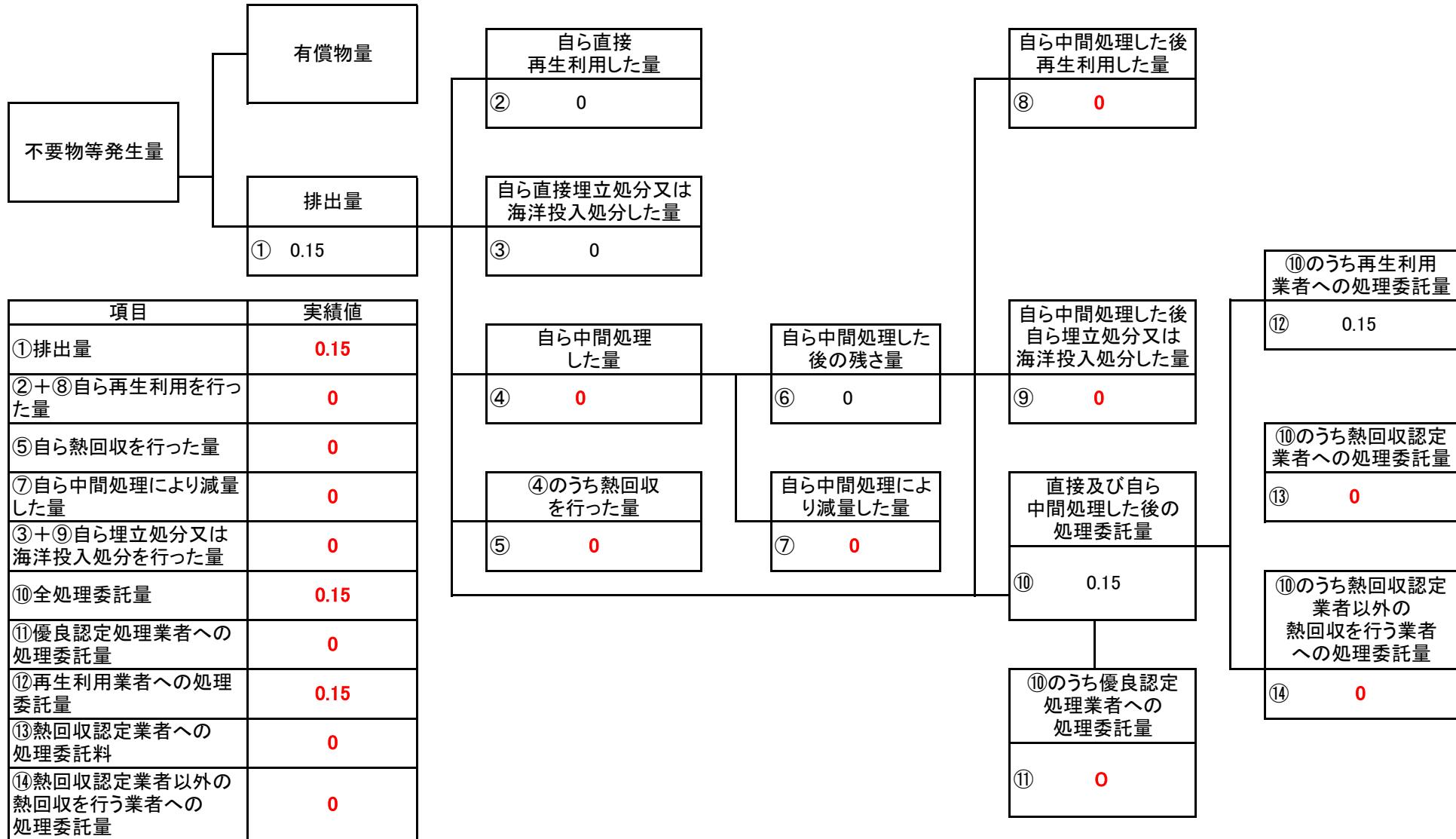
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類)



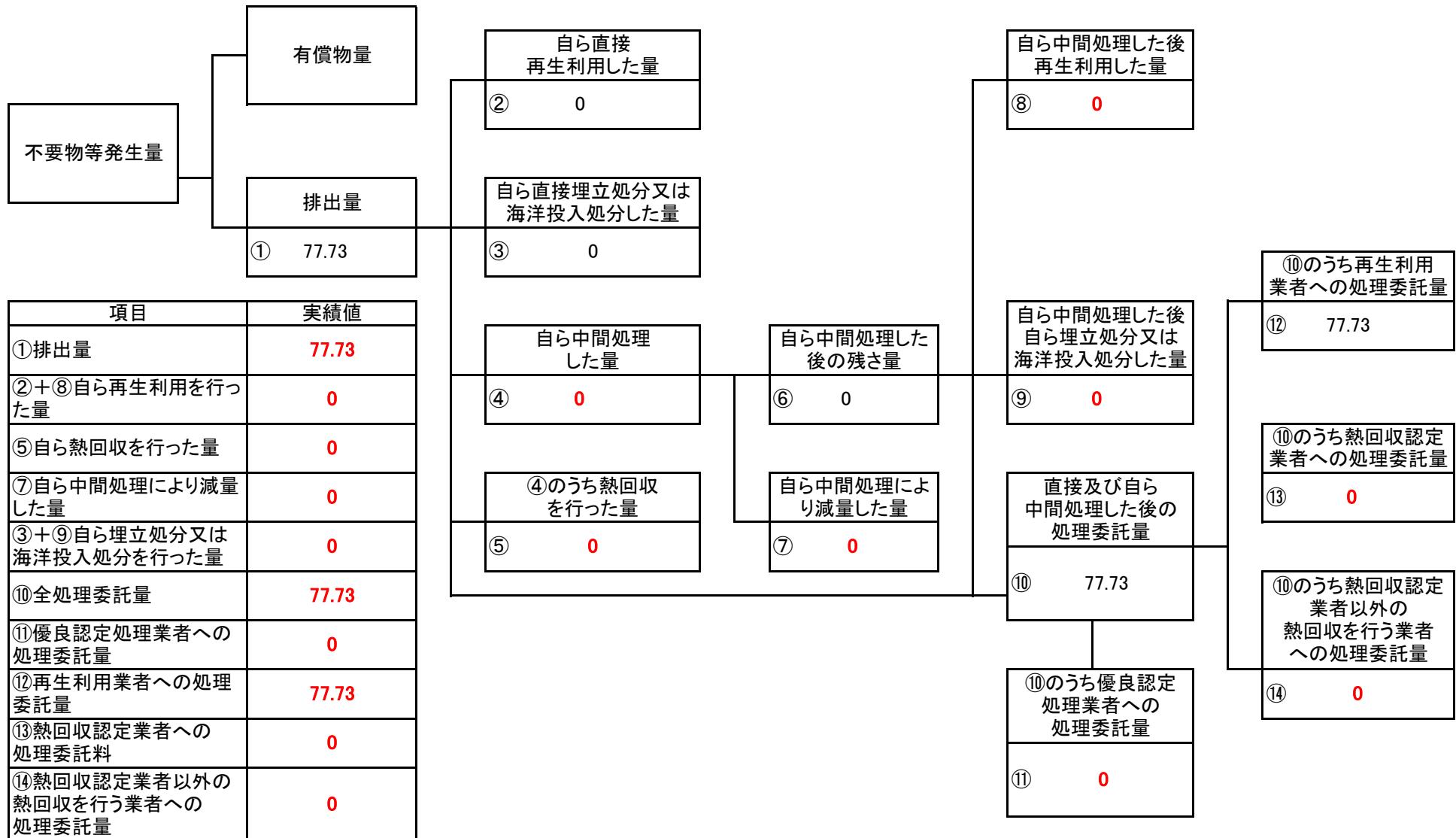
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃石綿類)



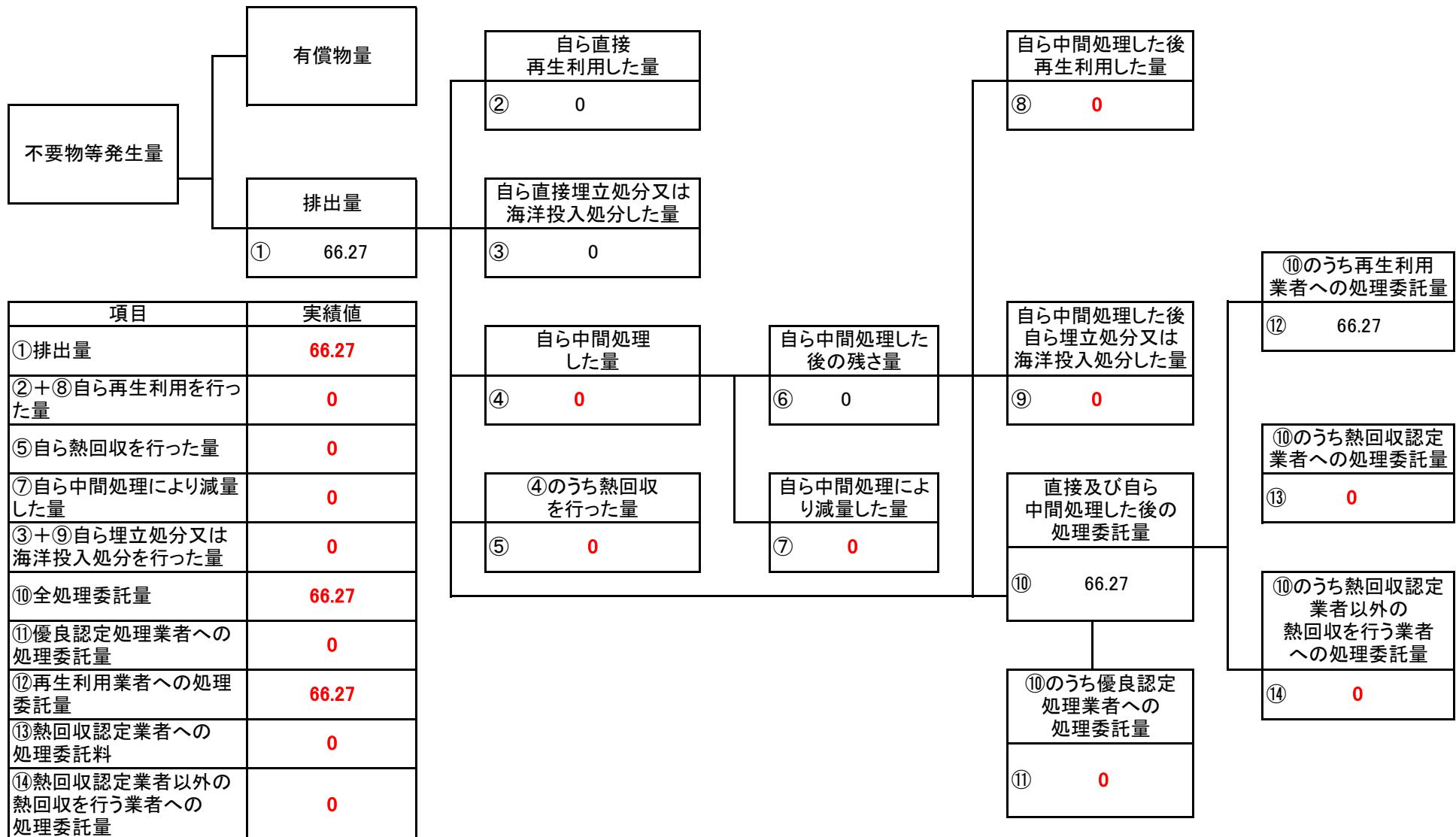
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 混合物)



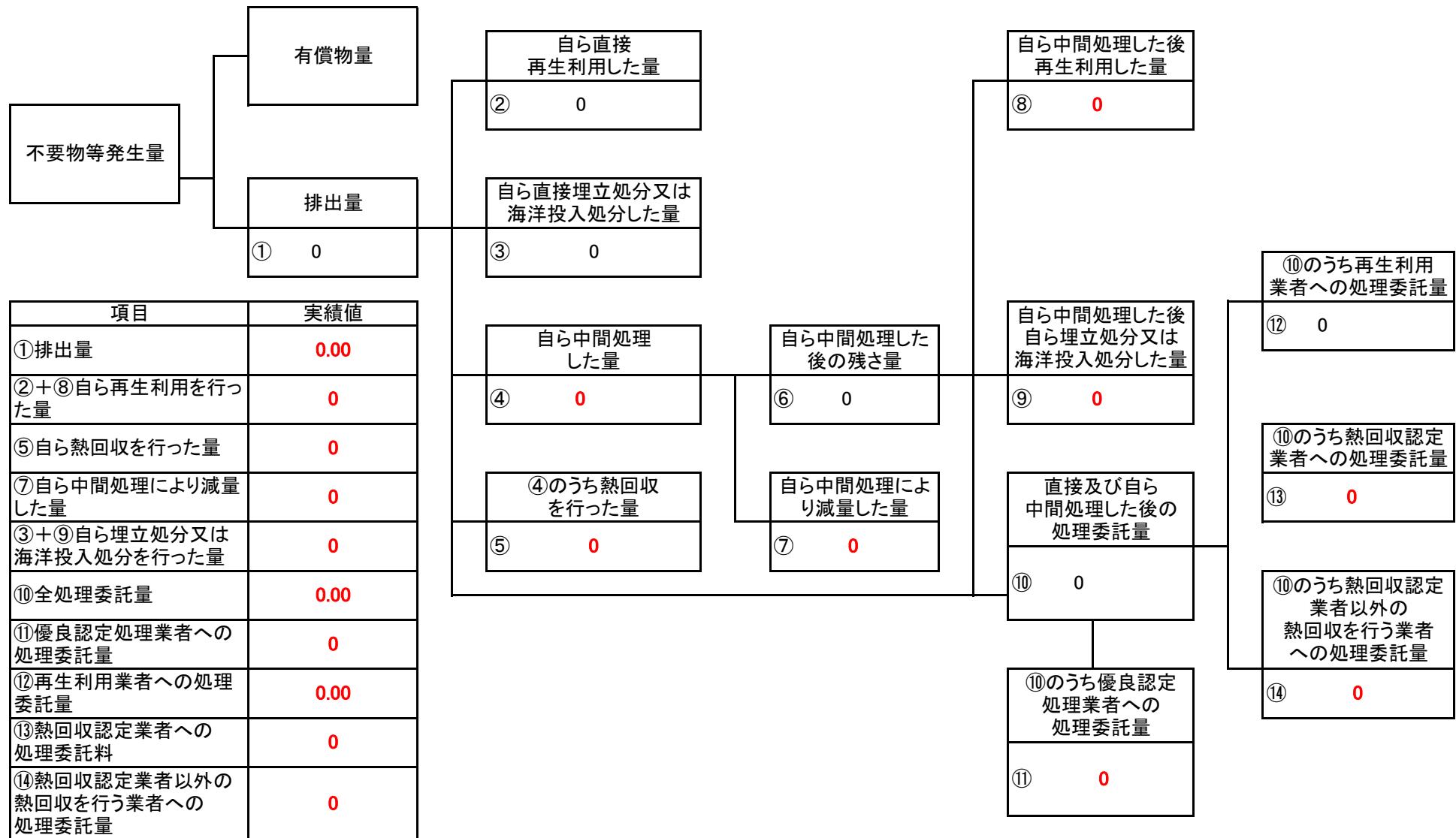
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



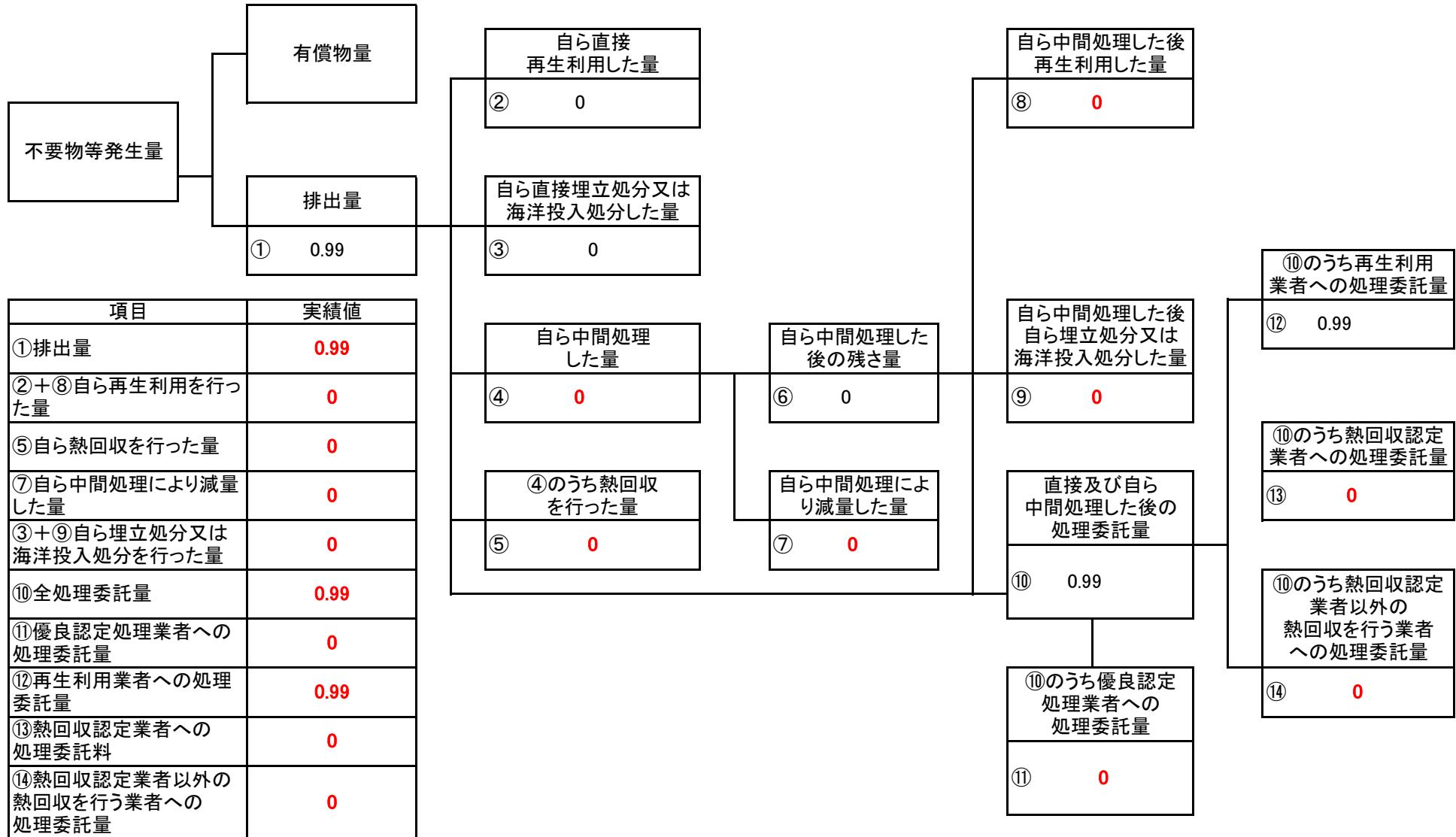
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラスくず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石膏ボード)

